

# トウバナ

*Rhododendron indicum*



種名

分類	被子植物双子葉シソ科	俗称		生活型	多年草
分布	本州、四国、九州、沖縄、中国、朝鮮、マレーシア、インド				
形態	茎は基部が伏して立ち上がり、高さ10～30cm、4稜あり、稜上に下曲する毛を散生する。 葉は対生し、ややひし形状卵形、長さ1.7cm幅1.5cm、葉柄は長さ6～10mm、縁に鋸歯がある。 頂穂は輪状に4～7層、1輪20花くらい、 花冠は淡紅色。2強雄ずい。分果は長さ0.6mm。				
類似種					
生息場所	原野、丘陵にはえる。				
繁殖	花は6～8月に茎頂と、上部の葉腋にも短い花穂をつけ、花を輪生する。萼は5歯をもち2唇形、下唇の2歯は細く、上唇の萼歯は上方へ曲がる。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他					

引用文献: 『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 双子葉植物』を改変